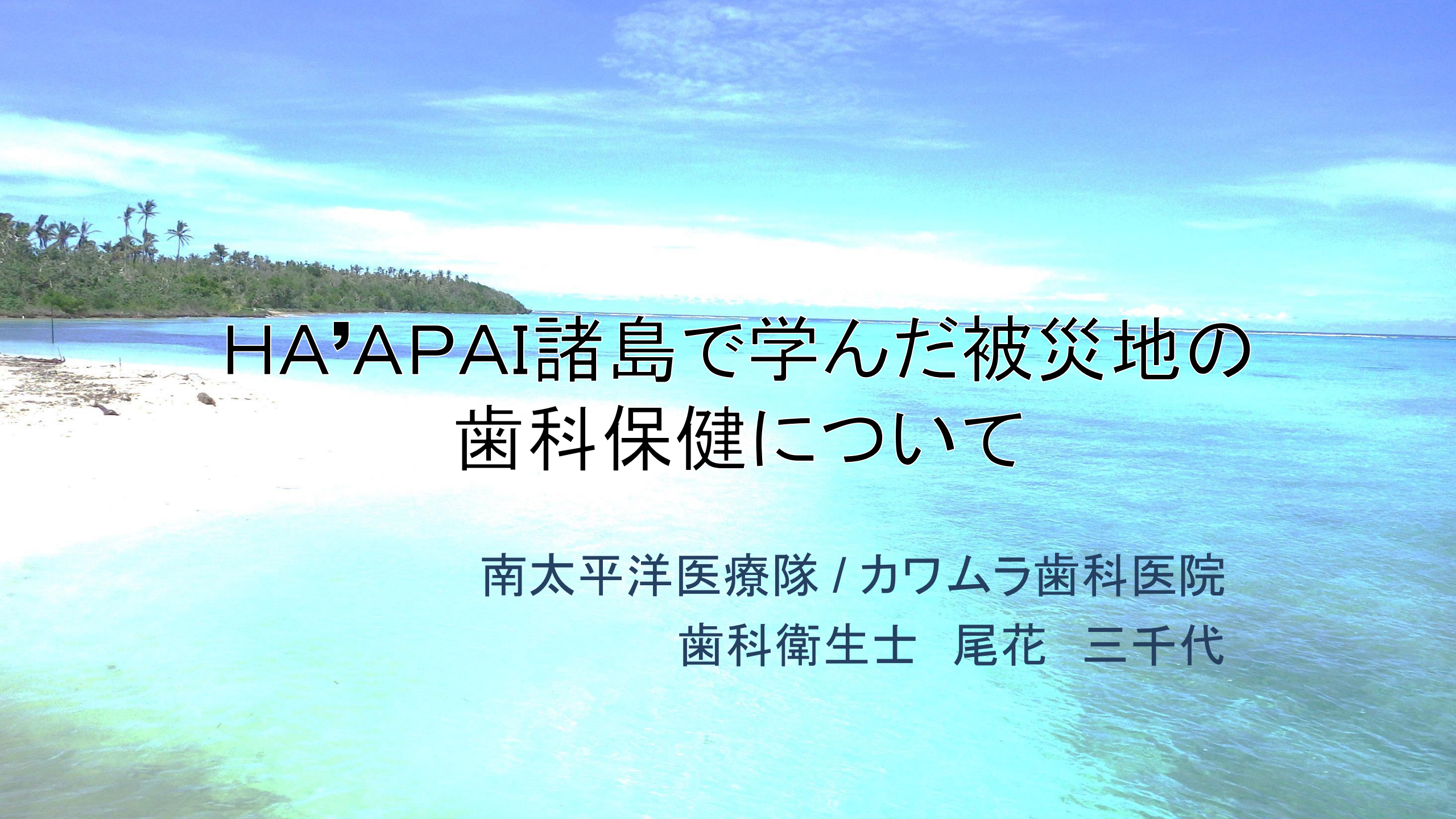




HA'APAI諸島で学んだ被災地の 歯科保健について

南太平洋医療隊 / カワムラ歯科医院
歯科衛生士 尾花 三千代

South Pacific Medical Team

1998年:トンガ王国において学校歯科保健プログラムを中心とした活動を開始

2006年: JICA「草の根技術協力事業」(草の根協力支援型)

「トンガ王国における歯科保健の為のプロジェクト」

2010年: JICA「草の根技術協力事業」(緊急経済危機対応フォローアップ型)

「トンガ王国における学校歯科保健活動向上の為のプロジェクト」

2013年: JICA「草の根技術協力事業」(パートナー型)

「トンガ王国における口腔保健のアプローチから生活習慣を改善するプロジェクト」

Kingdom of Tonga

面積 720km²(対馬とほぼ同じ)

人口 10,4900人(2012年現在)

首都 ヌクアロファ

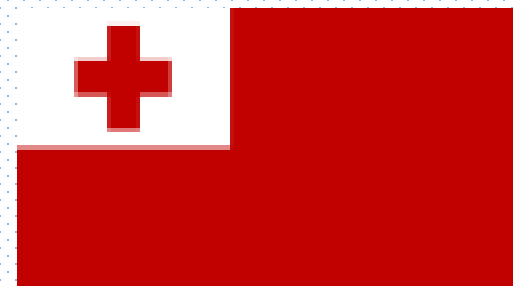
民族 ポリネシアン系

言語 トンガ語/英語

宗教 キリスト教



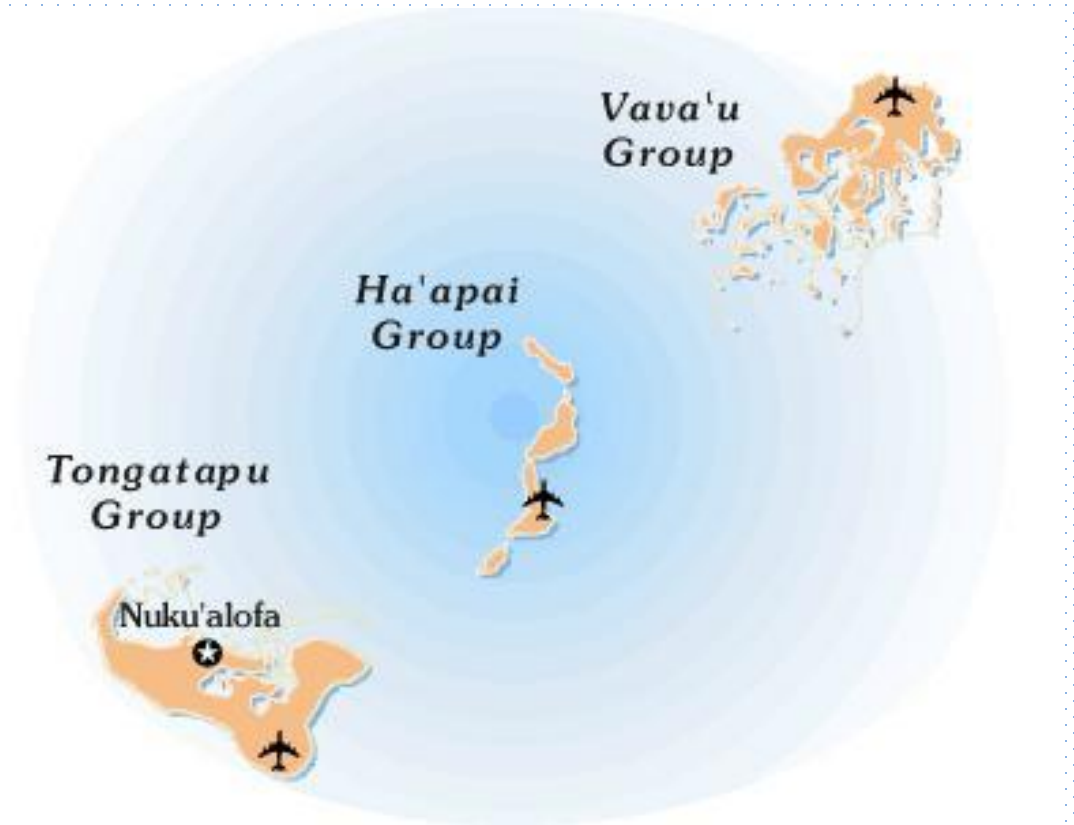
国章



国旗

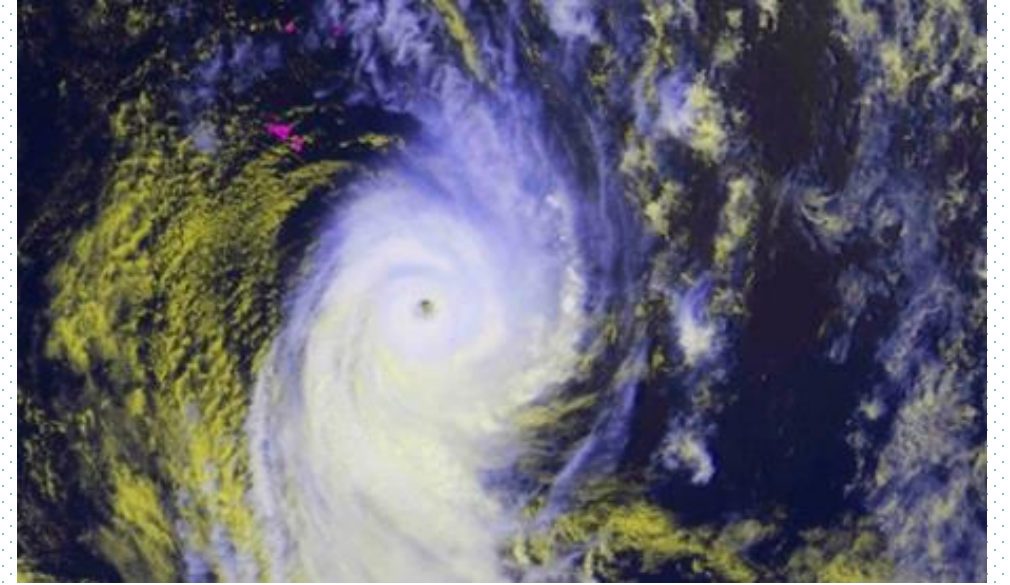
HA'APAI islands

トンガの中部に位置する
51の島からなる(そのうち有人は17島)
諸島全人口約8200人(2006年現在)



主島トンガタプ島から北へ160km

Cyclone Ian



NOAA/Reuters

2014年1月12日にHA'APAI諸島を直撃
約70%の建物が破壊され、
多くの怪我人と死亡者1名を出した

被害直後にはニュージーランドをはじめとする様々な国から医療チーム
や食料などの支援が届いている

HA'APAI諸島はCycloneの被害をよく受ける場所であるため、今回が初めてではない

表敬訪問

財務省大臣に復興のための表敬訪問を行った
南太平洋医療隊よりトンガ財務省に寄付金を贈呈した



HA'APAI諸島の復興を願って...

トンガの人たちは東日本大震災の時に
支援をしてくれた

滞在の目的

2014年2月22日から26日までの5日間滞在本島のDentist 2名とDental Therapist 2名と同行

Cyclone が直撃して1か月経つが、
HA'APAI諸島での現在の歯科保健の状況を視察
マリマリプログラムを再開・継続できる環境をつくる



Cyclone直撃1か月後の様子

多くの住民がテントでの生活を余儀なくされている状況
高温多湿のため蚊、ハエ、ネズミの蔓延による衛生状態の悪化



笑顔😊

Mali Mali Program

2006年にJICAと共同でプロジェクトを開始してからは、全土的に広がり、
歯磨き指導やフッ化物の応用が定着し
ハブラシの販売も行う様になった

ハブラシを貰えるから歯を磨くのではなく
自分で歯を磨くことの大切さを理解してもらったうえで、
自らのお金で購入してもらう

2月から学校が開始されるため、
それに合わせてマリマリプログラム
も一緒に行われる

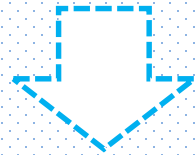


建物は壊れてしまったが学校は開始された

被災地での歯科保健

最初に援助を必要とするのは

住居 食事 医療



歯科

優先順位は低いが、
生活が安定するにつれてニーズが高まる

水が確保
できない！

歯医者に行けない！

ハブラシが無い！

実際の状況

多くのスナック菓子
やジュースが簡単に
手に入る

大きな組織の援助の中には歯科保健が含まれていなかった
少なくともHA'APAI諸島ではそうであった



unicef のテント



unicef によって寄付された勉強道具が
学校の庭に山積みになっている

Niuui Hospital

HA'APAI諸島に唯一ある病院
歯科診療室にはユニットが2つあり、
Dental Therapistが2名働いている
Dentist は不在
建物は壊れたままの状態で、
被災後はあまり機能していない様子



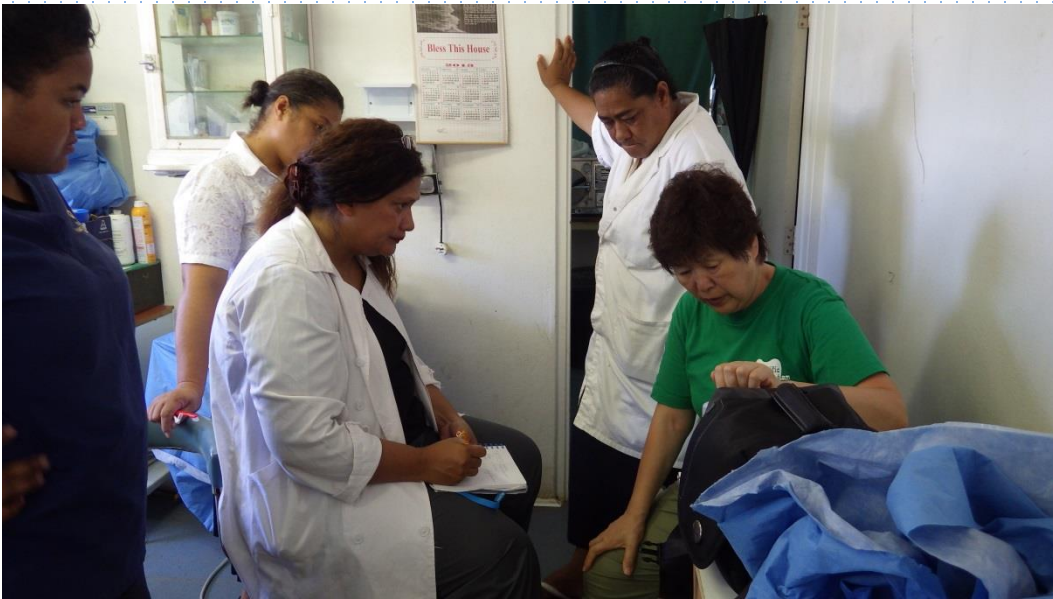
病院の外観



診療室の風景

予防することの大切さ

歯間ブラシや歯磨剤、患者に説明するためのリーフレットを診療室に寄付
ブラッシング方法や歯間ブラシの使用方法についての確認



Dental Therapist たちで
歯を磨くことの
大切さを伝えていく！

キーマン = Dental Therapist

HA'APAI諸島にある全ての学校をまわりハブラシセットの配布を行った



今回は無料でハブラシを配ることによって
マリマリプログラムを再開・継続の出来る環境をつくった

まとめ

確認できたこと

私たちのマリマリプログラムは直接現場へ行くことで活動できる
Dental Staff の熱意によって十分継続可能である

学んだこと

歯科保健の援助はunicefなどの組織には含まれていない
しかし、マリマリプログラムが継続されているため子供たちの歯はある程度守られている
災害が起きる前から予防を伝えていくことが大事

これから期待すること

マリマリプログラムの子供たちが大人になって、自分の子供たちに歯科の大切さを伝える

最後に

言語の違いや自分の未熟さで、なかなか思い通りに活動をする事が出来なかった。
今回の活動を通して学んだのは、**相手の立場に寄り添って考える**こと。
「支援をしてあげる」という気持ちのままでは、相手との壁はいつまでたっても取り除くことができない。
「してあげている」のではなく、「一緒に」取り組んでいく。
この考えを大切にして、これからも活動をしていきたい。



ありがとうございました